

やってみよう！農村民泊

難しい手続きなどは不要！ 農泊は農家でなくても簡単に始められます。

1 家に空き部屋と移動に使う車があれば、どなたでも始められます

1室から2室程度の空き部屋があれば構いません。3名から7名当たりの宿泊受け入れをしている農泊家庭が中心です。その他、教育旅行で行う入村式、退村式（各地の体育館・公民館などで実施）や入浴施設への送迎に使用できる自家用車が必要です。



2 建物や設備を改装する必要はほとんどありません

国東市の農泊では旅館業法、簡易宿所営業の農泊許可を取ります。家庭用の火災報知器、消火器の設置、防炎カーテンをご用意いただき、消防署の確認が取れれば、保健所での浄化槽、排水の流れや調理場、部屋の状況調査を経て農泊の認可が得られます。農泊では、既存の設備がそのまま活かされる場合がほとんどです。



3 食事は自宅や近隣で取れたものなどを中心に、宿泊者と一緒に作ります

特別な食事を用意する必要はありません。自宅の家庭菜園や近隣の家庭で取れるような食材を中心に、地域性を出していただくだけでOK。「宿泊者が地域の料理を作る体験をする」プログラムであるため、調理の一部は宿泊者の方にお願いしてください。



4 体験プログラムは農林水産業に限定されず、地域を知る体験ならOK！

「農泊」といえば農家でなければできないと思われるかもしれません、10年ほど前に条件が変更され、近所のお知り合いの耕作地で農業体験を行うことなども体験として扱われるようになりました。国東の場合は、今回ご紹介したような山歩きや六郷満山の寺院を訪ねることも、地域を体験するプログラムとして人気があります。



農泊の認可を得るために、消防署・保健所へ申請書類を提出し、現地検査を受ける必要があります。必要書類の内容などについては（一社）国東市観光協会へお問い合わせください。



一般社団法人 国東市観光協会 0978-72-5173

〒873-0511 大分県国東市国東町小原2662-1 info@visit-kunisaki.com



六郷満山 霊場巡りの宿として



国東半島峯道ロングトレイルと並び、国東半島へ訪れる目的となっているのが、六郷満山の霊場巡りです。天台宗を中心とする六郷満山寺院は国東半島に満遍なく点在し、人が集まる集落よりも、山間部に位置することがほとんどです。公共交通では巡るのが難しい寺院を訪ねたい宿泊者を、農泊受け入れ家庭の方に送っていましたが、地域を体験するプログラムの一つとして人気があります。

ゆっくりと時間の流れる農村でのんびりと地域を楽しむ人も、農村の日常生活を楽しみ、夕食時には受け入れ家庭の方から地域の歴史・文化や農業のお話を聞いていただくなど、農村民泊ならではの楽しみ方で身も心もリフレッシュする、そんな旅を楽しむ宿泊者の方もいます。



また、農泊では農林水産業にまつわる体験プログラムや、今回紹介した国東半島峯道ロングトレイル、六郷満山霊場巡りだけではなく、何もせずにのんびりと地域を楽しむこともできます。

また、農泊では農林水産業にまつわる体験プログラムや、今回紹介した国東半島峯道ロングトレイル、六郷満山霊場巡りだけではなく、何もせずにのんびりと地域を楽しむこともできます。